

表 3.1-4(9) 大気質の状況(自排局)

測定局	項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	環境基準	
松戸上本郷	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.032	0.028	0.027	0.027	0.025	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。 ※県目標は日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であること。	
		1日平均値の年間98%値	0.060	0.052	0.051	0.047	0.047		
		環境基準との比較	○	○	○	○	○		
		県目標との比較	×	×	×	×	×		
	CO (ppm)	短期的 評価	日平均値が10ppmを超えた日数(日)	0	0	0	0	0	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
			1時間値の8時間平均値が20ppmを超えた回数(回)	0	0	0	0	0	
			環境基準との比較	○	○	○	○	○	
		長期的 評価	年平均値	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	
			日平均の2%除外値	0.9	0.8	1.0	0.7	0.6	
			日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	無	無	無	無	無	
	環境基準との比較	○	○	○	○	○			
	SPM (mg/m ³)	短期的 評価	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間)	0	1	0	0	0	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
			日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(日)	1	1	1	0	0	
			環境基準との比較	×	×	×	○	○	
		長期的 評価	年平均値	0.032	0.030	0.034	0.022	0.024	
			日平均値の2%除外値	0.066	0.063	0.080	0.044	0.044	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無			無	無	無	無	無		
環境基準との比較	○	○	○	○	○				

注1)NO₂ 環境基準との比較：○は環境基準達成局(1日平均値の年間98%値が0.060ppm以下の測定局)。×は環境基準未達成局。県環境目標値との比較：○は県環境目標値達成局(日平均値の年間98%値が0.040ppm以下の測定局)。×は県環境目標値未達成局。

注2)CO 短期的評価による環境基準との比較：○は短期的評価による環境基準達成局(1時間値の8時間平均値が20.0ppm以下で、かつ、日平均値が10.0ppm以下である測定局)。×は短期的評価による環境基準未達成局。長期的評価による環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準達成局(日平均値の2%除外値が10.0ppm以下で、かつ、日平均値が10.0ppmを超えた日が2日以上連続していない測定局)。×は長期的評価による環境基準未達成局。

注3)SPM 短期的評価による環境基準との比較：○は短期的評価による環境基準達成局(1時間値が0.200mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.100mg/m³以下である測定局)。×は短期的評価による環境基準未達成局。長期的評価による環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準達成局(日平均値の2%除外値が0.100mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.100mg/m³を超えた日が2日以上連続していない測定局)。×は長期的評価による環境基準未達成局。

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」(平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課)

表 3.1-4(10) 大気質の状況(自排局)

測定局	項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	環境基準	
市川市市川	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.024	0.024	0.023	0.022	0.022	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。 ※県目標は日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であること。	
		1日平均値の年間98%値	0.046	0.047	0.046	0.041	0.043		
		環境基準との比較	○	○	○	○	○		
		県目標との比較	×	×	×	×	×		
	CO (ppm)	短期的 評価	日平均値が10ppmを超えた日数(日)	0	0	0	0	0	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
			1時間値の8時間平均値が20ppmを超えた回数(回)	0	0	0	0	0	
			環境基準との比較	○	○	○	○	○	
		長期的 評価	年平均値	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	
			日平均の2%除外値	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	
			日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	無	無	無	無	無	
	環境基準との比較	○	○	○	○	○			
	SPM (mg/m ³)	短期的 評価	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間)	0	0	0	0	1	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
			日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(日)	1	0	0	0	0	
			環境基準との比較	×	○	○	○	×	
		長期的 評価	年平均値	0.026	0.020	0.022	0.021	0.021	
日平均の2%除外値			0.060	0.048	0.061	0.055	0.051		
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無			無	無	無	無	無		
環境基準との比較	○	○	○	○	○				

注1)NO₂ 環境基準との比較：○は環境基準達成局(1日平均値の年間98%値が0.060ppm以下の測定局)。×は環境基準未達成局。県環境目標値との比較：○は県環境目標値達成局(日平均値の年間98%値が0.040ppm以下の測定局)。×は県環境目標値未達成局。

注2)CO 短期的評価による環境基準との比較：○は短期的評価による環境基準達成局(1時間値の8時間平均値が20.0ppm以下で、かつ、日平均値が10.0ppm以下である測定局)。×は短期的評価による環境基準未達成局。長期的評価による環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準達成局(日平均値の2%除外値が10.0ppm以下で、かつ、日平均値が10.0ppmを超えた日が2日以上連続していない測定局)。×は長期的評価による環境基準未達成局。

注3)SPM 短期的評価による環境基準との比較：○は短期的評価による環境基準達成局(1時間値が0.200mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.100mg/m³以下である測定局)。×は短期的評価による環境基準未達成局。長期的評価による環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準達成局(日平均値の2%除外値が0.100mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.100mg/m³を超えた日が2日以上連続していない測定局)。×は長期的評価による環境基準未達成局。

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」(平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課)

表 3.1-4(11) 大気質の状況(自排局)

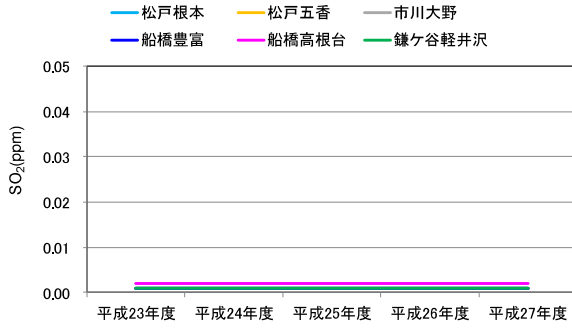
測定局	項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	環境基準	
鎌ヶ谷初富	NO ₂ (ppm)	年平均値	0.015	0.015	0.014	0.014	0.014	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。 ※県目標は日平均値の年間98%値が0.04ppm以下であること。	
		1日平均値の年間98%値	0.034	0.036	0.031	0.028	0.030		
		環境基準との比較	○	○	○	○	○		
		県目標との比較	○	○	○	○	○		
	CO (ppm)	短期的 評価	日平均値が10ppmを超えた日数(日)	0	0	0	0	0	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
			1時間値の8時間平均値が20ppmを超えた回数(回)	0	0	0	0	0	
			環境基準との比較	○	○	○	○	○	
		長期的 評価	年平均値	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	
			日平均の2%除外値	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	
			日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	無	無	無	無	無	
	環境基準との比較	○	○	○	○	○			
	SPM (mg/m ³)	短期的 評価	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数(時間)	0	0	0	0	0	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
			日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数(日)	0	1	0	0	0	
			環境基準との比較	○	×	○	○	○	
		長期的 評価	年平均値	0.027	0.025	0.026	0.026	0.024	
			日平均値の2%除外値	0.062	0.052	0.062	0.057	0.052	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無			無	無	無	無	無		
環境基準との比較	○	○	○	○	○				

注1)NO₂ 環境基準との比較：○は環境基準達成局（1日平均値の年間98%値が0.060ppm以下の測定局）。×は環境基準未達成局。県環境目標値との比較：○は県環境目標値達成局（日平均値の年間98%値が0.040ppm以下の測定局）。×は県環境目標値未達成局。

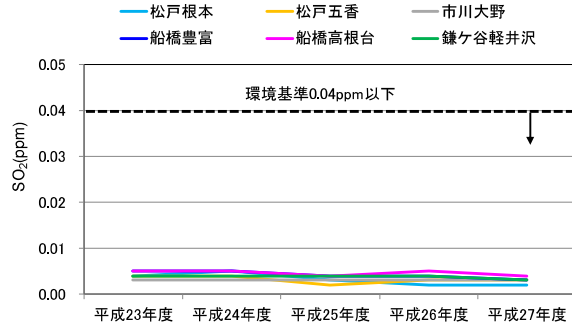
注2)CO 短期的評価による環境基準との比較：○は短期的評価による環境基準達成局（1時間値の8時間平均値が20.0ppm以下で、かつ、日平均値が10.0ppm以下である測定局）。×は短期的評価による環境基準未達成局。長期的評価による環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準達成局（日平均値の2%除外値が10.0ppm以下で、かつ、日平均値が10.0ppmを超えた日が2日以上連続していない測定局）。×は長期的評価による環境基準未達成局。

注3)SPM 短期的評価による環境基準との比較：○は短期的評価による環境基準達成局（1時間値が0.200mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.100mg/m³以下である測定局）。×は短期的評価による環境基準未達成局。長期的評価による環境基準との比較：○は長期的評価による環境基準達成局（日平均値の2%除外値が0.100mg/m³以下で、かつ、日平均値が0.100mg/m³を超えた日が2日以上連続していない測定局）。×は長期的評価による環境基準未達成局。

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」(平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課)



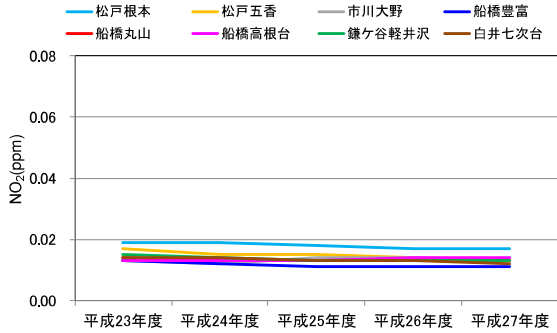
年平均値



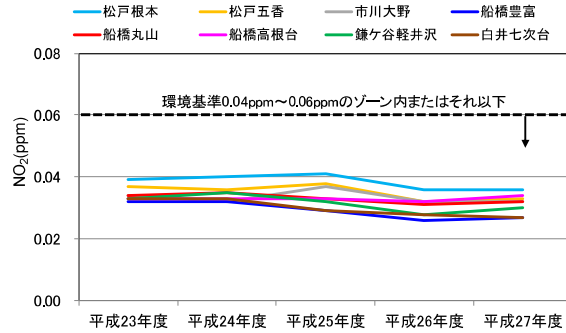
日平均の2%除外値

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課）を基に作成

図 3.1-4 一般局におけるSO₂の経年変化



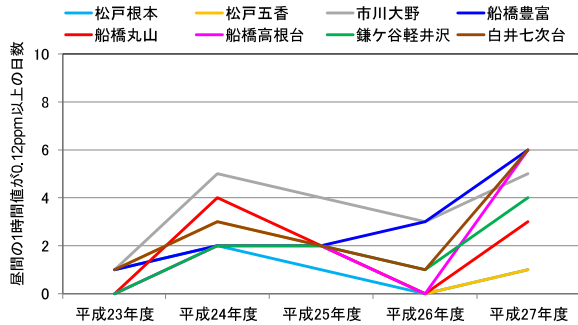
年平均値



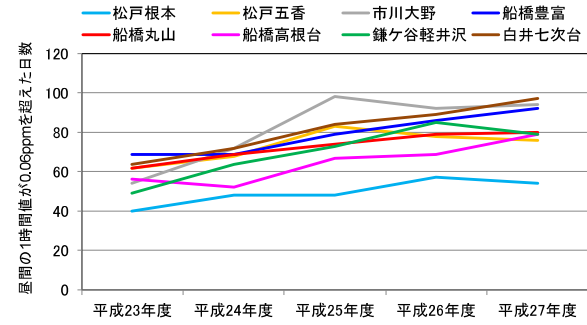
1日平均値の年間98%値

出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課）を基に作成

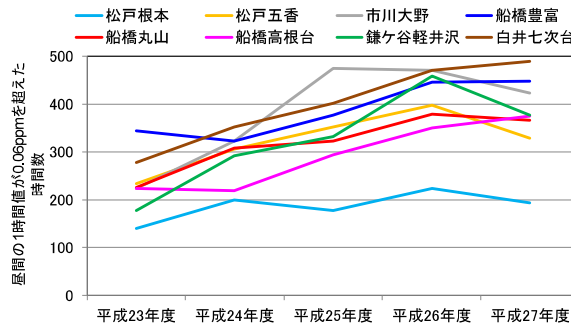
図 3.1-5 一般局におけるNO₂の経年変化



昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数



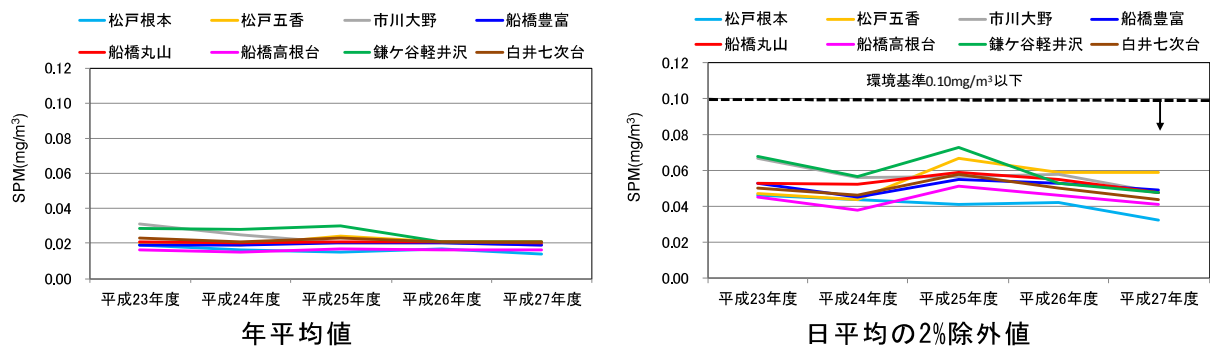
昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数



昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数

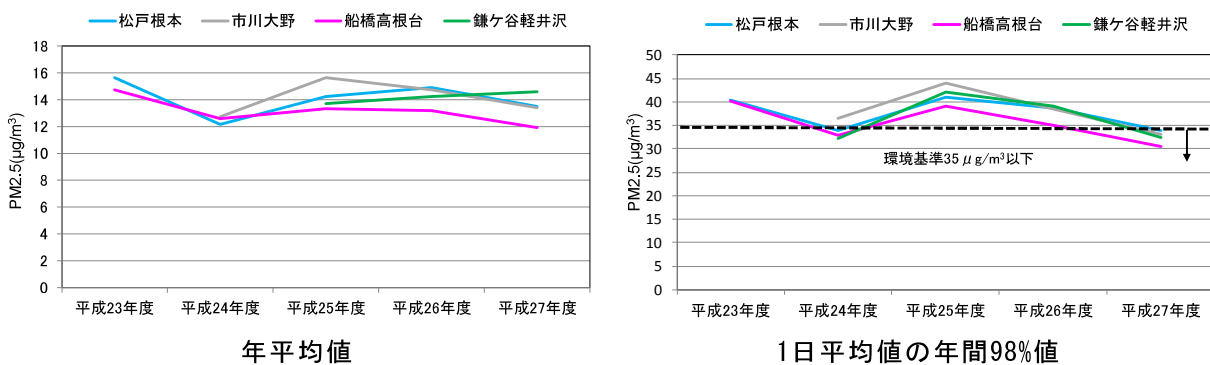
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課）を基に作成

図 3.1-6 一般局におけるSO₂の経年変化



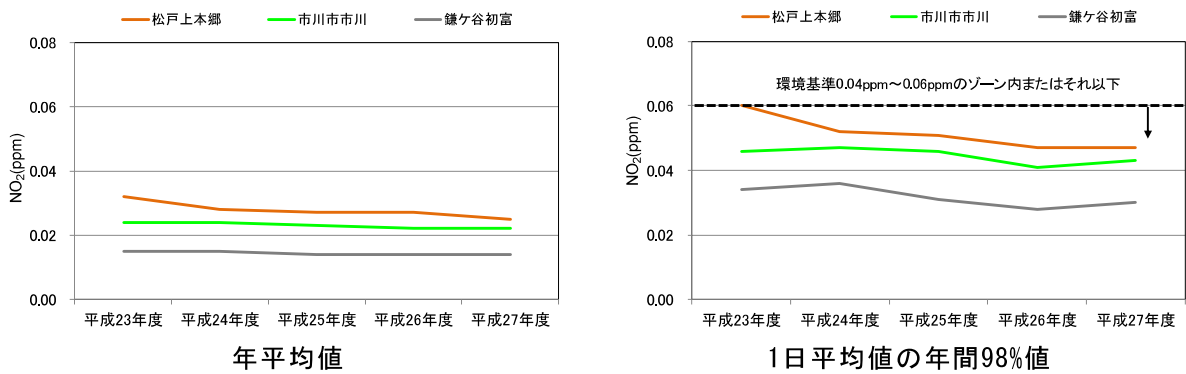
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課）を基に作成

図 3.1-7 一般局におけるSPMの経年変化



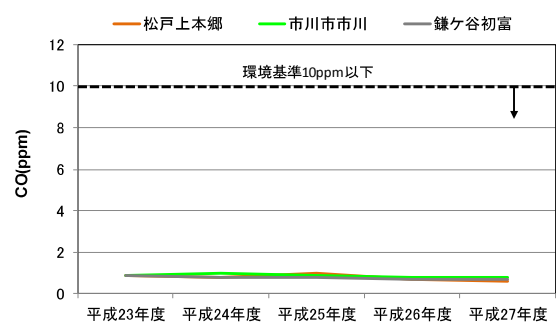
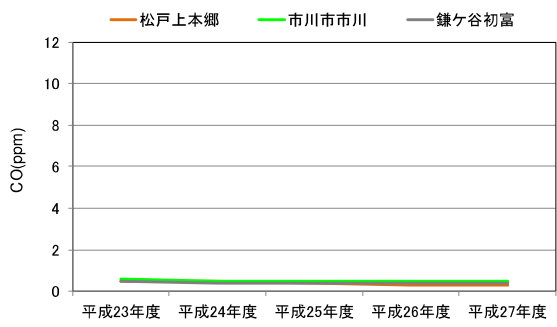
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課）を基に作成

図 3.1-8 一般局におけるPM2.5の経年変化



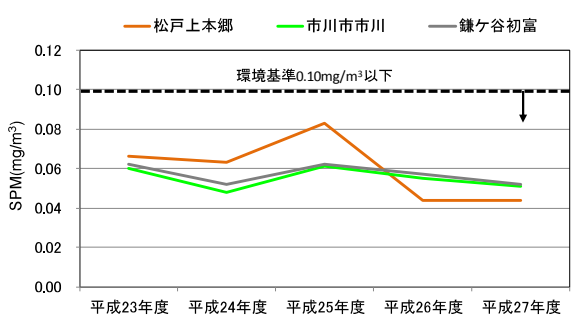
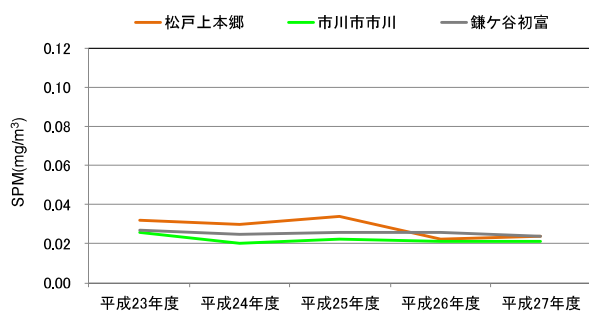
出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」（平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課）を基に作成

図 3.1-9 自排局におけるNO₂の経年変化



年平均値 日平均値の2%除外値
 出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」(平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課)を基に作成

図 3.1-10 自排局におけるCOの経年変化



年平均値 日平均値の2%除外値
 出典：「平成27年度大気環境常時測定結果」(平成28年8月 千葉県環境生活部大気保全課)を基に作成

図 3.1-11 自排局におけるSPMの経年変化

3) 騒音の状況

(1) 環境騒音

事業実施想定区域及びその周囲において、市川市と松戸市が定期的（5年毎）に環境騒音の測定を実施しています。

市川市では、平成25年3月～6月に市内49地点(1km²メッシュに1地点)で調査を実施しています。環境基準が設定されている34地点についてみると、基準値以下（達成）の地点は26地点です。これを地域類型別で見ると、表3.1-5(1)に示すとおり、A地域（第一種低層住居専用地域、第一・二種中高層住居専用地域）は20地点のうち16地点、B地域（第一種住居地域）は9地点のうち6地点、C地域（商業地域、準工業地域、工業地域）は5地点のうち4地点で環境基準を達成しています。

また、松戸市では、平成27年度に5地点で環境騒音の測定を実施しており、事業実施想定区域及びその周囲では表3.1-5(2)に示す3地点が位置しています。いずれの測定地点においても、昼夜とも環境基準を達成しています。

表 3.1-5(1) 市川市における環境騒音測定結果(昼間(午前6時～午後10時))

地域類型	用途地域	測定地点数	測定結果 (デシベル)	基準値以下 地点数	環境基準
A	第1種低層住居専用地域	14	55	11	55デシベル 以下
	第1種中高層住居専用地域	3	54	2	
	第2種中高層住居専用地域	3	52	3	
B	第1種住居地域	9	58	6	60デシベル 以下
C	商業地域	2	55	2	
	準工業地域	2	64	1	
他 ^{注)}	工業専用地域	1	63	1	—
	市街化調整区域	2	66	—	
計(平均値)		13	56	—	
		49	(58)	26	

注)環境基準が設定されていない工業専用地域・市街化調整区域においても測定地点を設置している。

出典：「市川市環境白書 平成28年版」(平成28年11月 市川市環境部環境政策課)

表 3.1-5(2) 松戸市における環境騒音測定結果

No.	測定地点	用途地域	測定値 (デシベル)		環境基準 (デシベル)	
			昼間	夜間	昼間	夜間
1	五香西2丁目	第一種低層住居専用地域	54	44	55	45
2	高柳新田	第一種住居地域	54	45	55	45
3	岩瀬	第二種住居地域	52	44	55	45

注1) 調査期間：平成27年11月18日～平成28年2月10日

注2) 昼間：6:00～22:00、夜間：22:00～6:00

出典：「平成28年版 環境の現状と対策」(平成28年10月 松戸市環境部環境保全課)

(2) 道路交通騒音

事業実施想定区域及びその周囲において、道路交通騒音について、住宅の立地状況を考慮した面的評価と、騒音規制法に基づく調査が行われています。調査結果は表 3.1-6(1)～(2)及び表 3.1-7 に、調査地点は図 3.1-12 に示すとおりです。

面的評価の調査結果をみると、昼間・夜間とも環境基準値以下となっている場合は、15.4%～100.0%となっています。また、騒音規制法に基づく調査結果をみると、松戸市内の一般国道 6 号の調査地点 2 か所において、要請限度値を超過しています。

表 3.1-6(1) 道路交通騒音調査結果(面的評価、平成 27 年度)

No.	路線名	測定地点の住所	環境基準類型	評価区間の住所	等価騒音レベル(デシベル)		評価区間の延長(km)	環境基準との比較			
					昼間	夜間		昼間・夜間とも基準値以下(%)	昼間のみ基準値以下(%)	夜間のみ基準値以下(%)	昼間・夜間とも基準値超過(%)
1	船橋松戸線	市川市柏井町	B	市川市柏井町 ～ 市川市大野町	67	62	4.3	99.8	0.0	0.0	0.2
2	高塚新田 市川線	市川市国分 1-4	B	市川市国分1-30 ～ 市川市新田5-1	68	66	1.9	93.1	6.8	0.0	0.1
3	一般国道 16号	船橋市小室町 902	A	船橋市小室町 ～ 船橋市小野田町	66	67	1	15.4	83.8	0.0	0.9
4	市川印西線	船橋市藤原 1-4	B	船橋市藤原1丁目 ～ 船橋市上山町1丁目	72	72	1	55.0	32.0	0.0	12.9
5	夏見小室線	船橋市金杉 8-2	B	船橋市夏見3丁目 ～ 船橋市三咲3丁目	69	68	7.2	77.7	16.1	0.0	6.2
6	一般国道 6号	松戸市松戸 558-2	B	松戸市松戸 ～ 松戸市松戸	73	73	1	64.7	27.6	0.0	7.8
7	一般国道 6号	松戸市上本郷 2234-5	C	松戸市松戸 ～ 松戸市二ツ木	72	71	5.1	79.5	14.3	0.0	6.2
8	市川松戸線	松戸市上矢切 299-1	B	松戸市中矢切 ～ 松戸市小山	67	64	1.0	97.6	2.1	0.0	0.3
9	松戸野田線	松戸市古ヶ崎 1丁目	B	松戸市小山 ～ 松戸市根本	69	69	6.4	84.4	15.4	0.0	0.2
10	市川柏線	松戸市紙敷 728-1	B	松戸市高塚新田 ～ 松戸市田中新田	69	68	4.1	84.9	13.9	0.0	1.2
11	松戸三郷線 (松戸橋有料)	松戸市古ヶ崎 67	B	松戸市古ヶ崎 ～ 松戸市古ヶ崎	70	70	0.4	71.0	29.0	0.0	0.0
12	市道1級 23号	松戸市胡録台 地先	C	松戸市緑ヶ丘1丁目 ～ 松戸市和名ヶ谷	68	69	1.3	80.0	4.4	0.0	15.7
13	市道1級 25号(1)	松戸市三矢小 台3-10-5	B	松戸市三矢小台4丁目 ～ 松戸市二十世紀が丘萩町	63	60	1	77.8	16.8	0.0	5.3

注1)昼間の時間区分は6:00～22:00、夜間の時間区分は22:00～6:00である。

注2)「環境基準との比較」の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならないです。

出典：「平成28年版千葉県環境白書」(平成29年3月 千葉県環境生活部環境政策課)

表 3.1-6(2) 道路交通騒音調査結果(面的評価、平成27年度)

No.	路線名	測定地点の住所	環境基準類型	評価区間の住所	等価騒音レベル (デシベル)		評価区間の延長 (km)	環境基準との比較			
								昼間・夜間とも 基準値以下	昼間のみ 基準値以下	夜間のみ 基準値以下	昼間・夜間とも 基準値超過
14	市道1級30号	松戸市岩瀬地先	B	松戸市岩瀬 ～ 松戸市小根本	68	69	0.5	71.1	13.0	0.0	15.9
15	市道2級23号(1)	松戸市六高台4丁目	B	松戸市六高台 ～ 松戸市六高台	60	54	1.1	99.9	0.1	0.0	0.0
16	一般国道464号	鎌ケ谷市新鎌ケ谷3-1	C	鎌ケ谷市初富本町1-2 ～ 鎌ケ谷市新鎌ケ谷4-12	63	64	1.3	98.5	1.5	0.0	0.0
17	県道船橋我孫子線	鎌ケ谷市東道野辺5-21	B	鎌ケ谷市東道野辺7-11 ～ 鎌ケ谷市東道野辺5-16	68	68	0.4	90.4	9.6	0.0	0.0
18	県道千葉鎌ケ谷松戸線	鎌ケ谷市くぬぎ山5-7	B	鎌ケ谷市初富21 ～ 鎌ケ谷市初富21	66	64	0.5	100	0.0	0.0	0.0
19	県道市川印西線	鎌ケ谷市南鎌ケ谷3-3	B	鎌ケ谷市南鎌ケ谷1-15 ～ 鎌ケ谷市南鎌ケ谷2-5	66	67	0.5	92.8	7.2	0.0	0.0
20	西白井停車場線	白井市七次台3-18	B	白井市清水口1-1 ～ 白井市木	63	57	2.7	100	0.0	0.0	0.0
21	白井停車場線	白井市笹塚2-5	B	白井市笹塚1-1 ～ 白井市根	60	50	0.7	100	0.0	0.0	0.0
22	白井流山線	白井市根	B	白井市白井 ～ 白井市木	67	60	1.2	100	0.0	0.0	0.0
23	白井流山線	白井市富塚	B	白井市折立 ～ 白井市西白井4-30	70	66	0.7	96.4	0.0	0.0	3.6

注1)昼間の時間区分は6:00～22:00、夜間の時間区分は22:00～6:00である。

注2)「環境基準との比較」の構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならないです。

出典：「平成28年版千葉県環境白書」(平成29年3月 千葉県環境生活部環境政策課)

表 3.1-7 道路交通騒音調査結果(騒音規制法に基づく調査 平成27年度)

地点	道路名	測定場所	区域の区分	等価騒音レベル (デシベル)		要請限度判定 ^{注2)}
				昼間 ^{注1)}	夜間 ^{注1)}	
A	一般国道16号	船橋市小室町902	a	66	65	○
B	一般国道6号	松戸市松戸558-2	b	73	73	×
C	一般国道6号	松戸市上本郷2234-5	c	72	71	×
D	市川松戸線	松戸市上矢切299-1	b	67	64	○

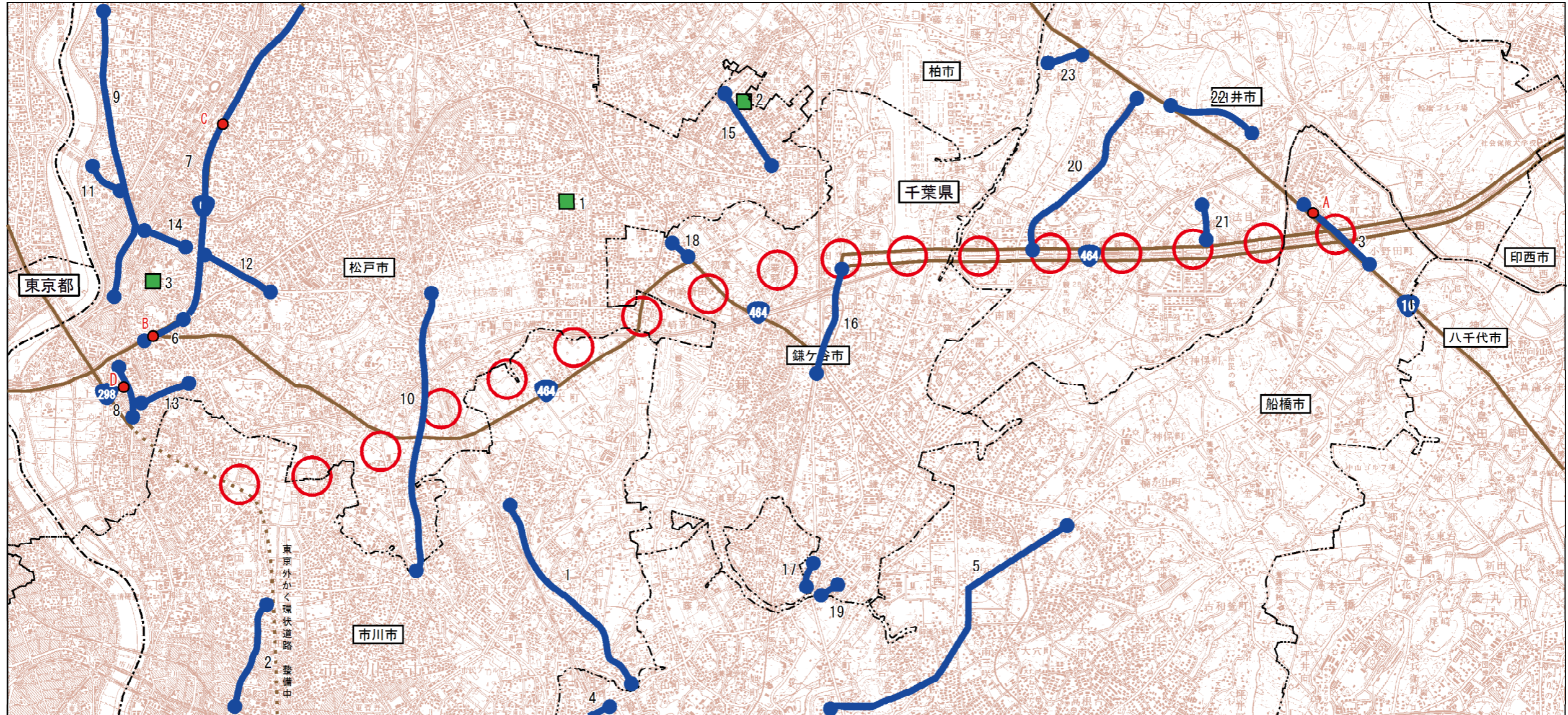
注1)区域の区分におけるa区域、b区域及びc区域とは、それぞれ次の各号に掲げる区域として都道府県知事が定めた区域をいう。

1. a区域 専ら住居の用に供される区域
2. b区域 主として住居の用に供される区域
3. c区域 相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される区域

注2)昼間の時間区分は6:00～22:00、夜間の時間区分は22:00～6:00である。

注3)要請限度(昼間75デシベル、夜間70デシベル)以下の場合は○、超過している場合は×を示している。

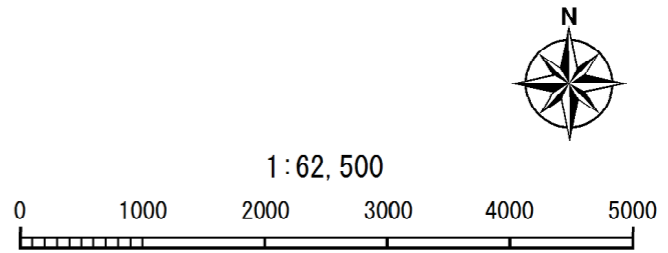
出典：「平成28年版千葉県環境白書」(平成29年3月 千葉県環境生活部環境政策課)



凡例

記号	名称
○ ○ ○	事業実施想定区域
-----	都県界
- - - - -	市区界

- 道路交通騒音
- 面的評価対象区間
 - 要請限度調査地点
- 環境騒音
- 環境騒音測定地点（松戸市）



出典：「平成28年版千葉県環境白書」（平成29年3月 千葉県環境生活部環境政策課）

図 3.1-12 騒音調査地点（平成27年度）

